

慶應言語学コロキウム

一般科学理論と生成文法研究

講師：大石正幸氏（東北学院大学教授）

コメンテーター：北原久嗣（慶應義塾大学教授）

日時：2015年4月25日（土）13:00-18:30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階 G-SEC Lab

参加費無料 申込不要

今回は、軸足を生成文法研究に置き、そこから科学哲学と科学史や言語学で論点となっているような事項を見ていきます。具体的には以下のテーマを扱う予定です。

- ・生成文法のめざすところ
- ・問題の同定と仮説の構築
科学的であること
- ・理論的解明
実験・観察・検証、印欧歴史比較言語学の科学的方法、
問題と謎と知解可能性
- ・方法論的自然主義
方法：説明理論の構築、生成文法の視点の変遷、文法の評価、
言語設計・完全性、復活された問い

テキストとして、「一般科学理論と言語研究」（遊佐典昭編『言語と哲学・心理学』の4章、中島平三監修・シリーズ朝倉〈言語の可能性〉9、朝倉出版2010年）を用いる予定です。参加希望の場合は、ひと通り見ておいてください。

主催：慶應義塾大学言語文化研究所
協力：慶應義塾大学次世代研究プロジェクト B

〈お問い合わせ先〉

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所
電話：03-5427-1595（事務室直通）メール：genbu@icl.keio.ac.jp
<http://www.icl.keio.ac.jp>